

隕石落下の可能性、町の考えと対応は

町長 地域の魅力発信や
観光振興につなげていく



一般質問 ⑥

問

昨年12月26日深夜、星の村天文台が撮影した大火星により、本町が注目されています。これまでの経過と捜索における事故防止の対応は。

答

田村市の星の村天文台が大火星の撮影に成功、画像分析の結果、南会津町の山間部に隕石として落下した可能性が高いとの報告がありました。1月の南会津ほしぞらの会の説明会には、多くの参加者がありました。その後、星の村天文台の大野裕明名誉台

問

もし隕石が発見された場合「奇跡の南会津隕石（仮称）」として多くの人で、にぎわっている情景を期待しますか。

答

県内外から隕石を見に来る多くの人が本町を訪れ、地域のにぎわいにつながると考えています。また、仮に隕石が発見されなかったとしても、今回の出来事で隕石や宇宙に関連した商品開発や、さらには本町の豊かな星空の魅力に改めて関心を持っていただくきっかけとなることを期待しています。今後、関係団体などと連携しながら地域の魅力発信や観光振興につなげていく考えです。

流星塵

流星のように宇宙の物質が地球の大気圏に突入した際、それが熱せられ融解した後に再び凝固した、微小な球状粒子。

その他の質問

- ・昨年大手企業との包括的連携協定が締結された。その目指す未来ビジョンとその成果への期待は
- ・学習障害の特性を持つ児童」のためのLD通級教室設置への期待は



田村市の星の村天文台で撮影された大火星、この光の真下が南会津町である